



本社エントランス

- 本社所在地：大阪府大阪市北区
- 事業概要：各種電気炉、制御機器の製造販売、環境試験機器・油圧機器他の販売
- 常時使用する従業員：111名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：62億円
(2025年5月期)
- 法人番号：4120001071272
- Web：
<https://www.motoyama.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
伊川 彰三

「熱・計測・制御」の統合技術で、最先端の革新を支え、持続可能な未来を創造する

弊社は、創業以来培ってきた「熱・計測・制御」のコア技術を融合し、顧客の複雑な課題を解決する高付加価値ソリューション企業として歩んでまいりました。現在、AIサーバーの需要拡大や、デジタル社会を支える海底ケーブル網、脱炭素の切り札となる次世代エネルギー（原子力・核融合等）といった進化する社会インフラの最前線において、当社の熱制御技術は不可欠な役割を果たしています。私たちが目指す「売上高100億円」は、単なる規模の拡大ではありません。商社とメーカー双方の強みを融合した「技術パートナー」として、最先端の革新を支え続けることで、地域経済の活性化と世界の産業発展に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円を達成する。
「商社機能による市場即応性」と「メーカー機能による独自技術」を高度に融合。既存のESM（環境・半導体・モビリティ）市場を深掘りするとともに、AIサーバー・次世代通信・核融合等の国家戦略分野への供給体制を強化し、新たな事業領域への展開とグローバル市場でのシェア拡大を通じて飛躍的な成長を実現する。

課題

事業領域の拡大：組織の変革を進め顧客をチームでサポートするソリューション提供型ビジネスへの転換。
次世代生産モデルの構築：ユニット化・デジタル化による高効率かつ高精度な生産体制の確立。
グローバル経営基盤の確立：海外現地ニーズの直接吸い上げと、最適な国際調達網の構築を行い、サプライチェーンと独自の技術力を強化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

戦略分野への強化：AI・次世代インフラに不可欠な熱処理技術、およびエネルギー安全保障を支えるインフラ関連機器へのリソース配分を強化し、戦略17分野におけるプレゼンスを拡大する。
新設「グローバル部門」による市場開拓：2026年発足の部門を軸に、医療機器、半導体製造装置などの高成長市場へ直接アプローチし、海外売上比率を大幅に引き上げる。
独自技術の多角化展開：独自のマイクロ波応用技術や環境配慮型熱システム、珈琲焙煎機など、特許技術を核とした新規事業を第2、第3の収益の柱として育成する。

実施体制

組織改革：エリアと業種に注力した組織体制へ
グローバル・サプライチェーンの最適化：海外サプライヤーと連携し、製造からメンテナンスまでをグローバルで完結できるサポート体制を構築する。
製造イノベーション：設計段階からのモジュール化（標準化）を推進し、リードタイムの短縮と品質の安定化を両立。熟練技術のデータを活用し、若手への技術承継を迅速化する。

各事業の売上推移グラフ

売上高100億円推移グラフ

